

予 算 要 求 資 料

令和4年度12月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型コロナウイルス感染症陽性者登録事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 感染症対策推進課 検査対策係 電話番号：058-272-1111(内3849)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 66,636 千円 (現計予算額： 515,208 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	515,208	98,687	0	0	0	0	84,970	0	331,551
補 正 要求額	66,636	33,318	0	0	0	0	6,797	0	26,521
決定額	66,636	286,314	0	0	0	0	6,797		▲ 226,475

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・「第7波」の急拡大による新型コロナウイルス感染症の患者の増加により、各地で医療ひっ迫が相次いだため、令和4年8月12日から重症化リスクの低い有症状者に対し、抗原定性検査キットの入手から医師による確定診断までを、自宅にしながらオンラインで完結することができる「岐阜県陽性者登録センター」が設置された。
- ・同年9月26日からは、全国一律で感染症法に基づく医師の届出(発生届)の対象が65歳以上の方などに限定されたため、発生届の対象とならない方の療養をサポートする「岐阜県陽性者健康フォローアップセンター」が設置されることになった。
- ・この見直しにより陽性者登録センターは、本スキームの一部として機能することになったため、運営期間についても令和5年3月末まで延長する可能性も考慮し、今回補正要求することとした。

(2) 事業内容

重症化リスクの低い有症状者に配布する抗原定性検査キットの梱包・配送等業務、事務局等の設置・運営、自己検査による陽性者の登録等

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2 県1/2 (岐阜市負担あり)

国10/10 (検査キット梱包・配送分) (岐阜市負担あり)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	66,636	陽性者登録を行う事務局設置・運営経費(人件費等)
合計	66,636	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

オミクロン株の特徴に合わせた医療機関や保健所の更なる負担軽減への対応として「発熱外来自己検査体制」においては健康フォローアップセンター等の開設が極めて重要であり、その内容も地域の実情に応じた適切なものとする必要があると令和4年8月4日新型コロナウイルス感染症対策本部において決定された。

(2) 国・他県の状況

外来を経ない医師を配置する健康フォローアップセンター等を設置し、自ら検査した結果の登録により療養を開始する仕組みをすべての都道府県において導入することを国から要請されている。

(3) 後年度の財政負担

今後の感染者数の推移及び医療機関のひっ迫状況により継続の必要を判断。

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜市と連携し事業を実施。

県内の医療提供体制支援のために行う事業であり、都道府県や保健所設置市での対応が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
各地で相次いでいるコロナ医療及び一般医療のひっ迫がなくなること。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染者の急増による各地での医療ひっ迫が相次ぎ、一般医療にも多大な影響を及ぼしており、速やかに対応が必要であるものの、感染者の増加を見通すことはできず、具体的な数値目標を設定することはできない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後の感染者数の推移及び医療機関のひっ迫状況を注視していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課		【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など		